

考える力・プラス講座

チャレンジ[®]
3年生

答えと 指導ポイント

「考える力」をのばす!

教育
情報局

自分で考え、
やり抜く力を身につけるために
「思考の壁」を乗り越える経験を。

— p42

国語 — p1

自分づくり — p12

社会 — p22

理科 — p30

算数 — p40

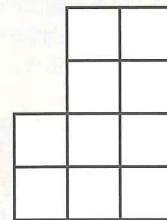


見本

おうちのかたが、お読みください。

高濱先生からの 「考える力」を見る問題

【問題】正方形が10個、以下のように並んでいる図形の中に長方形はいくつあるでしょう？



「タテ1とヨコ2の場合は○個」「タテ1とヨコ3の場合は○個」と長方形のタテとヨコの基準を明確にして、その基準でいくつ探せるかを徹底的に数えられればOK。考える基準を設定せず、ただやみくもに長方形を探していくには、なかなか正しい答えにはたどり着けません。こうした問題で、「考える力」がどれくらい身についているかがよくわかります。



話を聞けない小学生。
打ち弱い若者たち。
これまで多くの子どもたちの成長を見てこられたと思いますが、ひと昔前と最近の子どもを比べて、変わったところはありますか？

小学生だけを見ているとわかりづらいのですが、青年期になつて他者といい関係性を築く力が明らかに欠落してきていたと感じます。企業の上層部から漏れ聞こえる話では、上司に「ダメじゃないか！」と叱られると翌日から会社に来ない、といったようなこともあるようです。うまく関係を築けず、気持ちが折れてしまうんですね。私自身も「能力があるのになぜそこで折れるのかな？」と思うことがあります。

一では、将来折れない強さを身につけるために、3年生の子どもに対して親はどう接すれば

親は、安心・安全のために、よかれと思って、子どもが熱中していることや、子どもどうしのケンカなどをささえぎってしまいがち。しかし、これらは、自分自身で考えたり、解決したりする絶好のチャンスです。こうした体験が「考える力」や「やり抜く力」につながり、将来、折れずに問題に立ち向かい、自分の力で「メシが食える大人」になるのです。少し我慢して見守ってください。

自分で考え、 やり抜く力を身につけるために 「思考の壁」を乗り越える経験を。

『わが子を「メシが食える大人」に育てる』などの著書がベストセラーとなり、今、そのメッセージに熱い注目が集まる高濱正伸先生。今日は、高濱先生に、子どもの「考える力」を育てるために家庭でできることをお伺いしました。



たかはままさのぶ
高濱正伸先生

熊本県生まれ。東京大学大学院修士課程卒業。News Picks のプロピッカー。93年に国語力、数理的思考力に加え「野外の体験教室」を指導の柱とする「花まる学習会」を設立。「わが子を「メシが食える大人」に育てる」(廣済堂出版)など著書多数。

「考える力」を伸ばす外遊び、中遊び

魚釣り

針と糸を結ぶために指先を細やかに動かす「巧緻性」、魚がどこにいるか探る「見えないものを見る力」、針で怪我をしない「危機回避力」、毒のある魚に関する「知識」が磨かれます。最後に、食べる喜びまで味わえる、すべてが入った遊びです。



かくれんぼ

野外でも、家の中でもOK。「あの壁の向こうにあの子が隠れているかも」と空間を見通す「空間認識力」、この中に隠れられるかなという「空間イメージ力」、相手の気持ちを想像する「見えないものを見る力」など、多くの力が育ちます。



囲碁、将棋、トランプなど

雨の日はぜひ家族で対戦しましょう。「発見力」「論理的に考える力」「空間認識力」「イメージ力」「ひらめき力」のほか、囲碁・将棋・トランプのすべてにおいて、対戦相手の気持ちを読む「見えないものを見る力」が育ちます。



洗濯物をたたむ

親子やきょうだい間で、誰がいちばんきれいに素早くたためるか、お手伝いも兼ねたゲームにしてみてはいかがでしょうか？ 左右のバランスを意識してたたむことで「対称」の概念獲得にもつながります。



「考える喜び」を知れば
次にまた味わいたくなる

一 考える力を伸ばすために親ができることがありますか？

親にガミガミ言われて勉強するだけでは、本当の意味での考える力は身につきません。自分で問題を解いて「わかった！」という快感を味わった子どもは、「考える喜び」を知り、また次の快感を求めるようになります。つまり、この時期の子どもに必要なのは、「わかつちゃつた体験」をくり返すことなのです。

「考える力」が身についているかどうかは、43ページの図で示したような問題の解き方を見るとわかります。ただし現時点での問題が解けなくても大丈夫。親と一緒に振り返りましょう。3年生以降は「基準を決めて考える」というポイントを、だんだん理解できるようになっていきます。

性や集中力、発想の転換、空間認識力などの力を養うのです。
もちろん屋内遊びでも同様の効果が得られます。例えば、クッショングで秘密基地を作る、家中でかくれんぼをするなども、想像力や相手の気持ちを読む力を育てます。囲碁・将棋・トランプもおすすめです。これらは「わかつちやつた体験」をくり返すことができ、勝ち負けがあるからこそやる気が出て、勝つと自信がつきます。

3年生の学習は先取りよりも今できる学習を大切に教えてください。

この時期は先取り学習よりも、自信をつけさせることが大切です。もし先取り学習をしていて解けなかつたときに、「なんできかないの！」などと言われたら、子どもは自信を喪失してしまいます。私は口癖のように言っていますが、義務教育の学習内容は、

楽しい「遊び」を通して身につけるのがいちばん。特に、子どもは基本的に外が好き。外遊びとなるとやる気満々です。夢中になって遊ぶと、子どもの脳は大きく発達します。また、野外では自然の多様性や危険性を常に感じながら遊ぶことになります。「今こつちは晴れだけど、雲がかかっている山の向こうは大雨かも」など、「見えないものを見る力」も育ちます。

さらに、遊びの中で経験することとして、人生で最も大切な「自分で決定すること」があります。例えば、「小川にダムを作りたい」と決める、こと、それは他の誰でもない、自分自身の意思です。だからこそ、「砂や石を集め（攻略）→積み上げて川をせき止める（やり通す）」という遊びが、「自分で決めてやり抜く」経験となります。こうした遊びを通して、主体





高濱先生にとって「考える力」とは?



お子さまには、自分でとことん

考えて生き抜く力を身につけてほしいですね。

しかしこう年生以降は問題の難易度が高くなり、「思考の壁」にぶち当たつてとまどはず。

わからないうことを責めずに根気強く見守り、

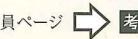
お子さまが「考える喜び」を味わう最高の瞬間を、ともに味わっていただきたいと思います。

取材文／永田久美子 イラスト／タニグチコウイチ 写真／加藤タカミツ(トサカキング) デザイン／Cue's inc.

考える力・プラス講座

WEBで、「考える力・プラス講座」がもっと活かせる!

「考える力・プラス講座」の効果的な活用術が満載のWEBサイトをご用意しました。ぜひ、ご覧ください!

進研ゼミ 小学講座 会員ページ  「考える力・プラス講座」
会員ページ「チャレンジウェブ」から入れます。
www.benesse.co.jp/s/land/

検索サイトで「小学講座 会員」「検索」と検索してください。

*インターネットにつながったパソコンが必要です。携帯電話・ゲーム機からはご利用いただけません。※コンテンツのご利用には、進研ゼミ小学講座の会員番号とパスワードが必要です。※パスワードについては4月号または入会時に一緒に届けている「会員番号シール」をご確認ください。※最新の標準動作環境は「チャレンジウェブ」でご確認ください。※デザイン・名前・内容などは変わることがあります。

できないはずがないのです。おうちのかたには、気長にゆっくり見守ってほしいと思いますね。

「考える力・プラス講座」は、一生懸命考える問題が多いため、お子さまがくじけそうになることもあります。

ともあるようです。

まず、自分でがんばって考えたこと自体をほめてください。そのうえで、問題がお子さまにとつて難しい場合は、普段取り組んでいる基礎的な問題をやつてみるなど、気分を切り替えてみましょう。

基礎的な問題に戻るのは、恥ずかしいことではありません。というのも、3年生くらいになると、なかなか問題が解けないことが多くなり、言わば「思考の壁」にぶつかって、悩んだりくじけそうになつたりすることがあるのです。そんなときこそ、親の接し方が重要になります。できないことを責めるのではなく、できる問題を取り組ませ、自信を回復できるようサポートしましょう。

中学受験は子どもの成長をよく見極めて決める

—高濱先生は中学受験の指導もされていますが、中学受験と考える力には関係があると思われますか?

中学受験によって考える力がつく、あるいはつかないといったことはありません。ポイントは、お子さまの発達段階によって、中学受験が適切な場合とそうでない場合があるということです。例

えば、6年生で部屋の片づけができたほうがいいでしょう。これは才能うんぬんの話ではなく、中学受験を乗り越えられる「大人

の意味でも、「大人度」が高くない場合は早すぎると考えましょ。中学受験はお子さまの様子をよく見極めてから決めていただきたいです。

もし、「受験する」と決めたら、おうちのかたは足並みをそろえ、ブレずに子どもをサポートすること。家庭の中で意見が異なると、子どもの成績は伸び悩みます。「途中でやめてもいいよ」といふ言い方もNG。この場合も往往にして良い結果を得られません。

逆に、「受験しない」場合、6年生まで心置きなく豊かな体験ができます。中学は部活動等で忙しくなるため、今のうちにぜひ外遊びやキャンプなどを経験してほしいですね。

子どもが幸せになるためには、「魅力的な大人、そしてメンが食える人」になることが大切!とおっしゃる高濱先生の著書を一部紹介します。

『わが子を「メシ」が食べる大人』に育てる

廣済堂ファミリー新書

840円(税込み)

『情熱大陸』(TBS系列)に出演し

て大反響となった「花まる学習会」

代表のカリスマ塾講師高濱先生が、

「自分でメシを食っていける大人」に

育てるための力とは何か、その具体的な身について方を紹介しています。

